

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

令和元年（2019年）度第18回総会

日時： 令和元年6月8日（土） 午前10時～12時

場所： 武蔵野商工会館3F講座室

資料

（審議事項）

- | | |
|--------|---------------------|
| 議案 1 | 平成 30 年度事業報告および決算報告 |
| 事業報告書： | 別紙 1 - 1 参照 |
| 収支計算書： | 別紙 1 - 2 参照 |
| 監査報告： | 別紙 1 - 3 参照 |
| 議案 2 | 定款第 55 条の変更 別紙 2 参照 |

（提案事項）

- | | |
|-------|-----------------|
| 提案 1 | 令和元年度事業計画及び収支予算 |
| 事業計画： | 別紙 3 - 1 参照 |
| 収支予算： | 別紙 3 - 2 参照 |

別紙1－1 平成30年度事業報告書

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容1： 武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

本年度に開催された「まちづくり条例」に基づく調整会においても、景観問題にかかわる調整は実施されたものの、市が作成した景観ガイドライン等が有効に機能したわけではなく、武蔵野市の景観整備の推進にあたって、まだ取り組むべき政策課題は多い。市が昨年度までの景観ガイドライン等の作成事業を経て、今年度実施された事業は一回の景観セミナーの実施のみであり、10年、20年に及ぶ地道な取り組みが必要な景観整備事情への姿勢がこのような状況では、武蔵野市全体の景観の向上、特に住宅地や商店街の景観の質の向上は到底望めない。

当組織としては、今年度以降に市が実施する景観啓発事業等と連携あるいは支援を行いつつ、武蔵野市の都市景観の向上を進めていく予定であったが、市の取り組み姿勢が想定外に低調であることを踏まえ、来年度から独自の取り組みを進めていくこととしたい。

事業内容2： その他、ウォッチング、事例視察など（南）

景観に関するウォッチングは具体化できなかった。

2. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容3： 古民家からKOMINKAへ（山田）

地方に限らず東京にも未々多くの古民家が残っており、古民家カフェに転用されたり、スタジオやギャラリーで活用されたりしている。武蔵野市だけでなく近郊を含めて古民家の現状をウォッチングし、まちづくりの切り口として新たな視点で古民家ウォッチングを昨年に続いて実施する予定であったが、市内における古民家探しに難渋したため、年度内には実施できなかった。

3. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容4： 武蔵野市都市計画マスタープランの見直しへの対応（篠原）

都市計画マスタープラン見直しに関する具体的活動は行っていない。

4. 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容5： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

中間まとめの編集は13回の作業部会が開かれ市民の意見の編集が完了2月8日に2年ぶりの第3回編

集会議が開かれた。作業部会以外の市民委員の出席は僅か 2 名で、長期間にわたる編集作業の弊害と委員の高齢化等があるため、早期にまとめる必要がある。

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容6： 住友不動産の武蔵野中町計画について（高田、塩澤）

準備会として関心を持って関わってきた住友不動産武蔵野中町計画に関しては、住友不動産担当者の変更もあって、準備会の要望を踏まえた事業者による計画の見直しがあったが、計画としては大きな進展はなかった。また、同事業者による南側地区の開発についても目立った進展はなく、準備会としての活動はほとんどなかった。

事業内容7： 「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

準備会として積極的に関わってきたタワーズマルシェは地域のイベントとして根付いてきて、市として「かたらいの道」のイベント使用に関する社会実験を検討するところまで来た（「三鷹駅北口街づくりラボ」において公共空間を活用した社会実験の企画が検討された。塩澤参加）。社会実験は来年度に実施の計画だが、準備会メンバーもこれまでの実績を踏まえて、積極的に関わっていく。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容8： プレイス西通りについて（中島、田中、篠原）

プレイスの前庭（境南ふれあい広場公園）の芝生に関する現状と課題の把握及び今後の望ましい保全方法の検討、地下駐車場に関する現状と課題の把握及び今後の望ましい施設整備等の検討を行った。

7. 「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容9： クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

「武蔵野の森を育てる会」の協力を得て、境山野緑地内から移植可能なコナラ等の状況を調査した。

事業内容10： 「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」の実施（田中、村井、篠原）

新たな緑の基本計画の策定に反映してもらうべく、武蔵野の森を育てる会や玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、武蔵野農業ふれあい村と共同主催で、「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」第1回（一昨年度実施）から第3回まで実施し、各回とも多くの市民と後援団体の支持を得て、緑を守り維持していくための宣言を採択できた。武蔵野の森を育てる会の田中代表（当会会員）を中心に、これらの議論の成果を市や委員会に提示し働きかけた結果、新たな緑の基本計画案の策定にあたっては、必ずしも十分ではないが、雑木林や上水、都市農地のあり方として最低限の内容が反映されたと評価している。緑の基本計画のパブリックコメント対しては、当会としての意見を提出している。

なお、計画案は、2019年3月12日に武蔵野市緑の基本計画 検討委員会から市長に答申された。

（参考）境山野緑地については、平成30年度末に一部の雑木林（通称「二小ゾーン」）に関して樹木

更新が実現した。

事業内容 11： 雑木林バス見学会の実施（田中、村井、篠原）

武蔵野市にある雑木林の今後の方向を検討するため、武蔵野の森を育てる会、武蔵野市社会教育を考える会、ジモッピーネットとの共同事業として、雑木林の再生（若返り）に取り組んだ先進事例の見学を行った。具体的には、東京都立小宮公園（八王子市）、西東京市立西原自然公園の雑木林再生地を見学した。

8. 「武蔵野市空家等対策計画(仮称)検討委員会」への市民委員派遣

事業内容 12： 空家等対策計画づくりへの助言（篠原）

合計で6回の検討委員会を経て、2018年8月16日に武蔵野市空き住宅等対策実施方針答申書を市長に提出。その後、この方針に基づき、12月に武蔵野市空き住宅等対策実施方針が公表され、武蔵野市第三次住宅マスタープラン改訂版では、2020年度（令和2年度）までに重点的に取り組むべき事項の一つとして、「空き家の適切な管理と利活用の促進」を掲げられた。

なお、2017年4月1日から、国の空家法に対応し、武蔵野市空家等の適正管理に関する条例が施行されており、特定空家に対し、市として対策を講じることができるようになっている。

9. 「くらしフェスタむさしの2018」への参加

事業内容 13： くらしフェスタむさしの2018への参加（田中、内門）

「武蔵野市の雑木林の現状と課題」について報告書を作成し、くらしフェスタむさしの2018にて2018年9月28日～29日に展示、報告を行った。全体テーマは昨年に引き続き「かわる時代 かわる暮らし」。また、二次展示を11月11日の青空市で実施した。

10. 「リビング・ラボ」の調査研究等

事業内容 14： 「リビング・ラボ」実現に向けた継続調査（長谷川）

2017年度に行ったりリビング・ラボの事例研究（鎌倉市今泉台のNPOに報告をお願いした件）に引き続き、2018年度も情報収集を行い、武蔵野市内で仮称「武蔵野リビング・ラボ」事業の一環と位置付け、一つの実践実例として、2018年10月27日（土）に映画『ケアニン～あなたでよかった～』の上映会を関前コミュニティセンター1階レクリエーション室で催した。

映画は、介護・認知症をテーマとした内容で、43名（主催者側参加者除く）の視聴者が集まり、上映後、感動と感泣される方が多数見受けられた。主催の名称は「ケアニン」上映実行委員会で、実際の構成員は、関前コミュニティ協議会及び関前福祉の会、八幡町コミュニティ協議会、特別養護老人ホーム武蔵館、特別養護老人ホーム及びらいふ武蔵野、そして早稲田フロンティア創生機構及び当会の7団体である（後援：武蔵野市市民社会福祉協議会及び武蔵野市高齢者支援課）

具体的な運営方法としてDVD提供配給元との交渉、諸手配は当方と早稲田フロンティア創生機構で行い、

DVD 借用の費用は早稲田フロンティア創生機構の負担、会場提供は関前コミュニティ協議会、広報と当日の業務は各団体とそれぞれが分担して行った。全体として、大変好評であった。

11. 成蹊大学経済学部との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 15： 成蹊大学とのコラボを実現する（篠原）

成蹊大学経済学部井出多加子教授（学部長）から、同学部のカリキュラムの一環として、景観や地元支援につながる活動を当会と共同研究したいとの申し入れがあり、昨年秋頃から企画を作成し、協定を結ぶ予定であったが、成蹊大学側の事情で、具体的な規格づくりには至らなかった。

12. 長期計画見直しへの協力

事業内容 16： 第6期長期計画策定に向けた市との協働を進める（南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

市から第6期長期計画の策定にあたり討議要項を策定する市民会議への協力要請があり、昨年7月に開催された市民会議において、山田及び塩澤（都市基盤分野）、南及び村井（緑・環境分野）、篠原（行財政）がファシリテーターとして協力。2月9日の関係団体意見交換会に際しては当会としての意見を述べ、意見書も提出した。

なお、当会の中村氏は、長期計画策定委員会の委員（行財政分野）である。

13. その他事業

事業内容 17： その他の新規事業（役員、会員）

特に新規事業は実施しなかった。

§ 2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容 18： コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

吉祥寺東コミセンから旧平井邸活用についての協力要請があったが、武蔵野市との調整がつかず残念ながら対応できなかった。

事業内容 19： まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

地域団体やコミセン等からの要請はなかった。

§ 3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容 20 講習会、シンポジウム等の開催（役員、会員）

講習会、シンポジウム等の開催はなかった。

事業内容21 まちづくり探訪（南、その他の役員、会員）

まちづくり探訪は実施しなかった。

事業内容22 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

昨年度は、武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウムの実施や新たな緑の基本計画の策定、武蔵野市空家等対策計画検討委員会、長期計画策定に伴う市民会議、景観シンポジウムへの協力などを通じて、市長や副市長、市の関係部門とも、一定のネットワークづくりができたと評価する。

§ 4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容23 定例会の開催と運営（内門）

次の通り定例会を実施した。

- ✓ 7月13日（金）、消費生活センター講座室
- ✓ 9月14日（金）、同上
- ✓ 11月9日（金）、同上
- ✓ 2019年1月18日（金）、同上、終了後新年会実施
- ✓ 2019年3月8日（金）、同上

事業内容24 役員会の開催と運営（内門）

次の通り役員会を実施した。

- ✓ 2018年4月13日（金）19:00～21:00 消費生活センター講座室

事業内容25 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（内門）

東京都へのNPO関係報告・法務局への登記や総会・定例会・役員会等の資料作成準備業務、予決算・出納会計業務などを滞りなく行った。

事業内容26 ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

ゲート頁の一新やウェブコンテンツの体系的整理を行うつもりであったが、他の事業の関係から最低限の内容更新が精一杯であった（篠原、山田）。

以上

別紙1-2 平成30年度収支計算書

平成30年度収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

単位:円

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	1,000	
会費	56,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	180,000	
武蔵野の緑を育てる		21,974
(2)教育事業		
講師派遣	31,000	
(3)普及啓発事業		
ウェブサイト運用		57,755
その他収入		
寄付	760	
利息	8	
事務管理費		
消耗品		629
通信費		720
合計	268,768	81,078

収支差額	187,690
期首繰入(前期残高)	747,200
期末繰越(当期末残高)	934,890

別紙1-3 平成30年度監査報告書

平成30年度の業務監査及び会計監査の結果、「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の業務は法令および定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて適正に処理されていることを確認しました。

令和1年 5月10日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事 竹山 悠紀子



監事 青木 一郎



別紙2 定款第 55 条の変更

定款第 55 条を次の通り変更する。

旧：第 55 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

新：第 55 条 この法人の公告は、この法人のホームページに掲載して行う。ただし、解散時の公告、清算時 の破産手続開始決定の公告は官報に掲載しておこなう。

(改定理由)

平成 30 年 10 月 1 日から施行された改正 N P O 法（平成 28 年 6 月成立）により、毎年度の決算は、「資産の総額」の変更を登記する方法から貸借対照表を公告する方法に改定された。

当法人の定款 55 条による公告方法は官報に掲載する方法になっているため、定款を変更しない場合は、官報掲載料として、毎年数万円を負担する必要がある。

別紙3-1 令和元年度事業計画

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容1： 武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

市内全体の景観向上を図る上で当面実施すべき課題としては、①景観の公共性に対する市民意識の向上（景観まちづくりの手引きの活用等）、②市内における景観問題の把握と改善手法の検討（フィールドワーク及び座学等）、③様々な景観向上施策に関する市民の理解の促進（景観ガイドラインの活用促進等）、④景観ガイドラインの内容の充実（記述内容の検証・改善等）などが考えられ、5月12日の屋外広告物に関する現地調査と勉強会を踏まえて、勉強会とフィールドワークを継続的に進めていく。

事業内容2： その他、ウォッチング、事例視察など（南）

5月12日に実施した吉祥寺の商業地域における屋外広告物に関する現地調査と勉強会を皮切りに、フィールドワーク及び座学を進める。

2. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容3： 古民家からKOMINKAへ（山田）

武蔵野市に限らず他地域も含めて、第2回古民家ウォッチングを企画したい。予定としては、6月22日（土）杉並区荻窪周辺（太田黒邸、荻外荘、渡邊家住宅等）で計画中。

3. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容4： 武蔵野市都市計画マスタープランの見直しへの対応（役員、篠原）

市の都市整備部、まちづくり推進課からの都市マス見直しについて相談したいとの要請があり、5月連休後の8日に、役員及びまちづくり推進課の課長以下5名と議論することとなった。

5月8日のまちづくり推進課との打ち合わせに基づいて、当会として具体的な活動を行う予定。総会資料作成時点では、打ち合わせ内容は分かっていないが、都市マス策定から20年を迎え、これまでの都市マスがどのように実現に向かったかを、市民や関係団体を含めた、武蔵野のまちづくりの評価と課題をどう得るかが、スタートポイントと認識している。今一度市内のまちづくりについて見直し、当会として、どのように進めて行くかを提案しつつ、市や関係団体とも協力関係を維持しつつ、よりよい計画づくりのために努力したい。

4. 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容5： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

中間まとめの編集は市民意見の編集が終わり、これから行政意見を入れ込んだ事務局作成資料の編集に入る。行政は数回の作業ボリュームとしているが、今年も中心的な担当が異動したため、難航が予想される。そのため今年度も早めの再開をお願いしているが、再開の予定は不明である。昨年と同様、一刻も早く報告書をまとめ、話し合いの会を再開する必要があることに変わりはない。

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容6： 住友不動産の武蔵野中町計画について（高田、塩澤）

2019年度準備会は、昨年度から引き続き住友不動産武蔵野中町計画に関して、その2期工事も含めて、事業者と協議していく。さらに、同事業者による南側地区の開発についても、その進捗状況に応じて関わり、当該エリアにおいて協議会の設立に向けた可能性を探っていく。

事業内容7： 「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

「三鷹駅北口街づくりビジョン」に関連して、市が公共空間の利活用に向けた社会実験を行う予定であることから、準備会として積極的に関わり、引き続きサポートを行う。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容8： プレイス西通りについて（中島、清本、田中、篠原）

武蔵境駅南口の整備もほぼ終わり、①プレイス西通りにおける人や自転車に優しい「路づくり」、②プレイスの前庭（境南ふれあい広場公園）の芝生の整備、③プレイス西通りと前庭の面的統合による路と広場づくり、④地下駐車場に関する現状と課題の把握及び今後の望ましい施設整備等の検討を引き続き行い、市民や関係団体、行政がどのように関わり連携して実現に向けて取り組むのかにつき、検討と議論、提案を進めていく。

7. 「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容9： クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

2018年度の成果である基本設計をもとに、「武蔵野の森を育てる会」と共同で雑木の移植計画を検討し、提案、実施状況を注視する。また、同会の協力を得て、境山野緑地内から移植可能な植物を確認のうえ、市に対して提案する。

事業内容10： 緑の基本計画のフォローアップ（田中、村井、篠原）

緑の基本計画の策定と並行して2018年度に実現した境山野緑地の樹木更新（通称「二小ゾーン」）の経過を把握し、「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」（第1回）の宣言文に即して武蔵野市の雑木林をよりよい状態で未来へとつなぐための市民ネットワーク及び市との協働の実現を推進する。

8. 「くらしフェスタむさしの2019」への参加

事業内容 11： くらしフェスタむさしの2019 への参加（内門、篠原）

今年度のテーマは、武蔵野市空き住宅等対策実施方針の答申書をもとに、「武蔵野市の空き住宅等対策について（仮）」とする予定。

9. リビング・ラボや映画上映等の調査や実践

事業内容 12：リビング・ラボや映画上映等の調査や実践（長谷川）

2017 年度に行ったリビング・ラボの事例研究（鎌倉市今泉台の NPO に報告をお願いした件）に引き続き、今年度も情報収集を行い、武蔵野市内で仮称「武蔵野リビング・ラボ」事業として立ち上げる可能性を検討している。具体的には、地域共生型映画サロンを中心に、健康歌声サロン、お昼のお弁当会の三位のコラボ、ワン・パッケージ化の実現に向けて、現在、関連筋に参加しながらリサーチ活動中である。

10. 成蹊大学経済学部との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 13：成蹊大学などとのコラボを実現する（篠原）

引き続き成蹊大学との連携を維持し、要請があれば協力体制づくりを行う。なお、大学との連携については、成蹊大学に限らず、広く検討することとする。

11. 長期計画見直しへの協力

事業内容 14：第6期長期計画策定に向けた市との協働を進める（南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

引き続き市から要請があれば協力する。また、策定委員会等の動向を注視し、必要に応じて意見し、ネットワークを活かした活動を行う。

12. その他事業

事業内容 15：その他の新規事業（役員、会員）

新たな事業を設けることが適切な場合、役員会にて検討し、柔軟に対応する。

§ 2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容 16：コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

コミュニティ協議会等との連携の深化を行い、協力要請には適時対応する。

事業内容17： まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

地域団体やコミセン等の要請に応じて講師を派遣する。

§ 3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容18 講習会、シンポジウム、まちづくり探訪等の開催（役員、会員）

景観や古民家ウォッチング、武蔵野市内外におけるまちづくり探訪などを開催する（南、山田）。役員や専門分野をもつ会員を講師とした講習会などを開催する（役員、会員）。

事業内容19 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

各事業を通じて、市長や副市長、市議、まちづくりやみどりの担当部門などとのネットワークづくりを行う。市内外まちづくり団体とのネットワークづくりを行う。

§ 4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容20 定例会の開催と運営（内門）

次の通り定例会を開催する。

- ✓ 7月12日（金）、消費生活センター講座室
- ✓ 9月13日（金）、同上
- ✓ 11月8日（金）、同上
- ✓ 2020年1月17日（金）、同上、終了後新年会実施
- ✓ 2020年3月13日（金）、同上

事業内容21 役員会の開催と運営（内門）

必要に応じて役員会を招集する。

事業内容22 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（内門）

東京都への報告や定例会・役員会等の資料作成準備業務、予算・出納会計業務などを行う。

事業内容23 ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

従来の維持管理に加え、新たにウェブページのコンテンツ内容の更新についても外部委託し、負担を軽減するとともに、迅速な情報提供を実現する。この外部委託業務を通じて、委託先に当会のウェブページの特徴を理解してもらい、今後のホームページ全体の更新につき、委託先から提案を求め、再来年度以降における意義ある全面更新を目指す。

以上

別紙3-2 令和元年予算

令和元年度収入見込み:

昨年度繰越額	934,890 円	
会費収入見込み	56,000 円	会員数 28 人
活動による収入見込み	100,000 円	外環、講師代他見通し
収入合計	1,090,890 円	

令和元年度支出見込み:

事業内容	金額	備考
1. まちづくりに関する調査研究事業		
①景観をテーマにしたまちづくり事業	3,000 円	資料・茶代等活動費
②古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討	3,000 円	同上
③都市計画マスタープランの見直しに向けた対応	3,000 円	同上
④外環の地上部話し合いの会への司会者の派遣等	3,000 円	同上
⑤三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援	3,000 円	同上
⑥市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力	3,000 円	同上
⑦武蔵野の森を育てる会とのコラボレーション事業	3,000 円	印刷費・講師謝礼分担
⑧くらしフェスタむさしの 2019 への参加	なし	特に不要
⑨リビング・ラボ等の調査研究等	3,000 円	資料・茶代等活動費
⑩その他事業	10,000 円	予備費
小計:	34,000 円	
2. まちづくりに関する支援・連携事業		
①コミュニティ・まちづくり支援活動の実施	なし	特に不要
②まちづくり出前講座の実施	なし	特に不要
小計:	なし	特に不要
3. 普及啓発事業及びネットワークづくり		
①講習会、シンポジウム等の開催	3,000 円	企画準備費
②まちづくり探訪	4,000 円	企画準備費
③ネットワークづくり	4,000 円	茶代・資料作成費
小計:	11,000 円	
4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等		
①定例会・役員会の開催と運営	5,000 円	資料コピー代等
②各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備	5,000 円	資料作成コピー代等
③ホームページの維持管理・一層の拡充等	120,000 円	維持管理 6 万円
小計:	130,000 円	
合計:	175,000 円	

収支差額（次期繰越額）: 915,890 円

参考：令和元年度会員名簿

1	代 表	篠原 二三夫	理事長
2	副代表	南 賢二	理事
3	〃	河田 弘昭	
4	〃	高田 典夫	理事
5	〃	村井 寿夫	
6	〃	山田 朗	理事
7	監 事	竹山 悠紀子	監事
8	〃	青木 一郎	監事
9	事務局長	内門 秋弘	
10	顧 問	清本 和子	
11	〃	勝倉 啓仁	
12	会 員	塩澤 誠一郎	
13	〃	西村 まり	
14	〃	高田 昭彦	
15	〃	田辺 軌夫	
16	〃	深田 貴美子	
17	〃	川名 雄二	
18	〃	内山 智子	
19	〃	中島 敏	
20	〃	手塚 一郎	
21	〃	菊池 太郎	
22	〃	中村 郁博	
23	〃	山本 ひとみ	
24	〃	三浦 香澄	
25	〃	原 利子	
26	〃	田中 雅文	
27	〃	長谷川 正人	
28	〃	梅川 誠	